

最上川中流水防災意識社会再構築ビジョンの取組

●市町村防災担当者のための『ハザードマップ作成支援ツール』説明会を実施

- ・ビジョン取組【伝える】【促す】【動く】として、H29.1.20公表「最上川中流の浸水想定区域図（想定最大）」を用い、市町村防災実務担当者へ国交省HM支援ツール操作体験講習を実施。
- ・地域住民の水害からの避難や被害軽減に対する『河川管理者として積極的な支援』を実施
- ・各市町村の洪水ハザードマップ早期完成を促す取組（短期間・安価・容易に作成できる）。

■日時：2月15日（水） 13:30～15:30

■場所：新庄河川事務所

●出席者：新庄市・尾花沢市・大石田町・舟形町・金山町・
真室川町・大蔵村・鮭川村・戸沢村・最上町・山形県

●内容：①各市町村へ浸水想定区域図電子データ等を配布
②洪水ハザードマップ作成にあたっての注意点について
③避難勧告等に関するガイドラインの変更について
④ハザードマップ支援ツール説明、実操作・作成体験

■防災担当者の声

- ・ハザードマップ作成支援ツールは知っていたが、操作方法がわからなかったので、**操作体験が非常に役に立つ**。
- ・支援ツールによる「浸水想定区域・家屋倒壊危険区域・避難場所などの重合せ操作」も平易で分かり易く**簡単にHM原案の作成ができそう**だ。
- ・自らが避難場所を表記することにより、**防災担当者としての役割が明確**になる。
- ・役場内等職員での情報を共有したい。



説明会開催状況



操作体験